



Always Rising Community Service

2023年2月期 第2四半期決算 決算説明会資料

▶スーパーアークス千代台店 (株)道南ラルズ)
2022年9月9日オープン



▼ユニバース北上花園店 (株)ユニバース)
2022年9月22日オープン



2022年10月17日

株式会社 アークス 代表取締役社長 横山 清

2023年2月期 第2四半期決算について

1. 決算概要について
2. 売上高動向（既存店売上前年比）
3. 営業利益の増減要因及び販管費明細
4. 通期業績予想及び下期の取り組みについて
5. 株主還元について

株式会社アークス
取締役副社長執行役員 古川 公一

1. 決算概要について

売上高、総利益は前年から微増で推移したものの、水道光熱費を中心とした販管費の増加により、営業利益は予算・前年を下回って着地いたしました。

2023年2月期 上期実績			
(億円)	第1四半期	第2四半期	上期累計
売上高	1,382	1,429	2,812
前年比	100.5%	99.9%	100.2%
予算比	99.7%	99.1%	99.4%
営業総利益	344	350	695
前年比	100.7%	101.0%	100.9%
予算比	99.1%	98.8%	99.0%
販管費	306	315	621
前年比	102.5%	103.3%	102.9%
予算比	99.9%	100.4%	100.2%
営業利益	38	35	74
前年比	88.5%	84.7%	86.7%
予算比	92.5%	86.5%	89.5%
経常利益	42	40	82
前年比	90.4%	87.9%	89.2%
予算比	93.6%	89.8%	91.7%
当期純利益	28	26	55
前年比	99.6%	85.2%	92.1%
予算比	95.0%	90.5%	92.8%

既存店 売上高・客数・客単価

	前年比	2019年比
売上高	99.9%	104.0%
客数	97.6%	93.0%
客単価	102.4%	111.8%

収益認識適用後過去最高売上を達成

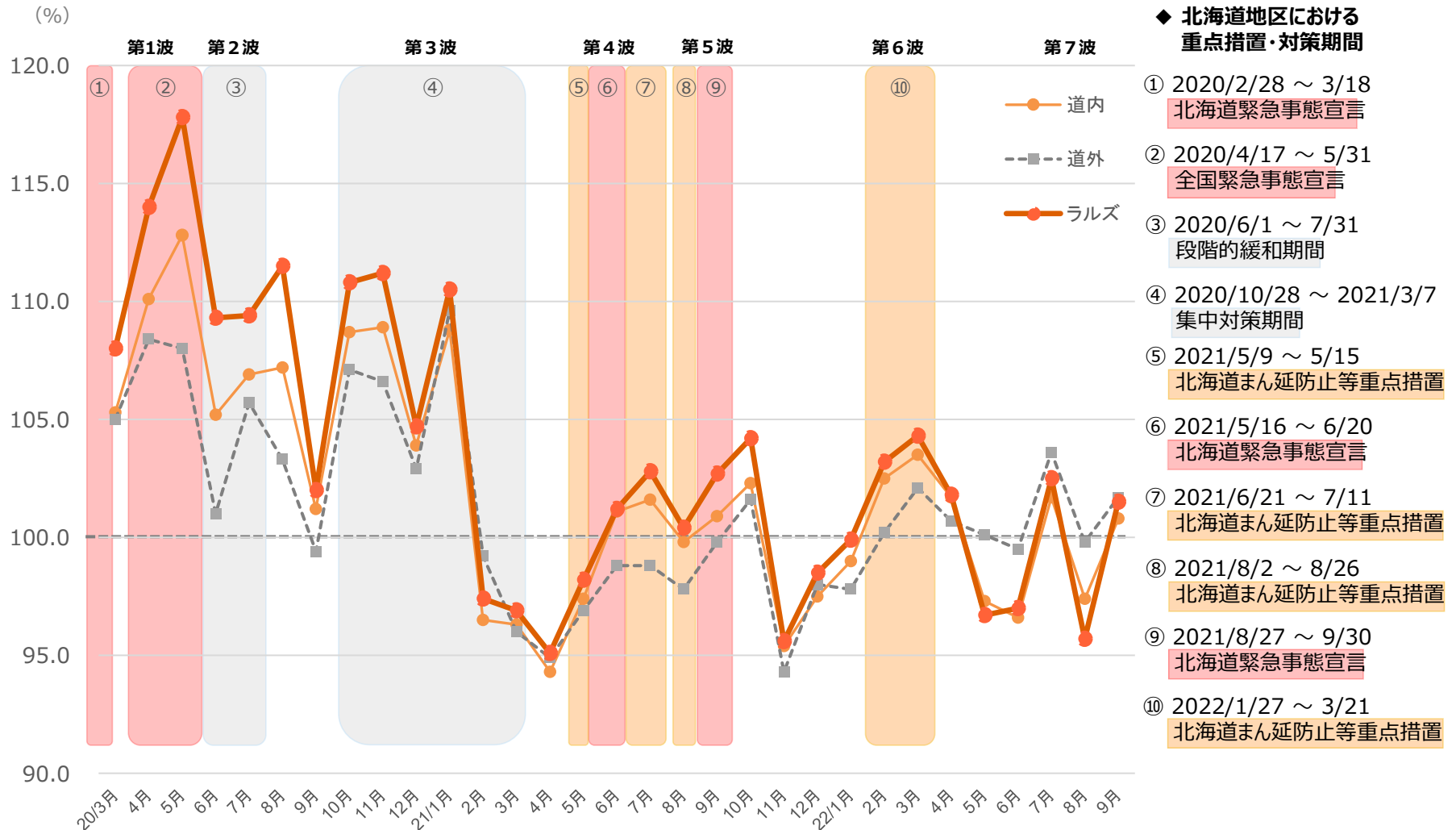
営業利益、経常利益共に収益認識適用後過去3番目に高い実績を計上

※ 本表記載の前年比の数値は、2022年2月期上期の公表実績に対して「収益認識に関する会計基準」を適用した後の数値と比較した前年比となっております。

2. 売上高動向（既存店売上前年比）

新型コロナウイルスの感染状況に伴う行動制限等に左右される状況は継続しております。

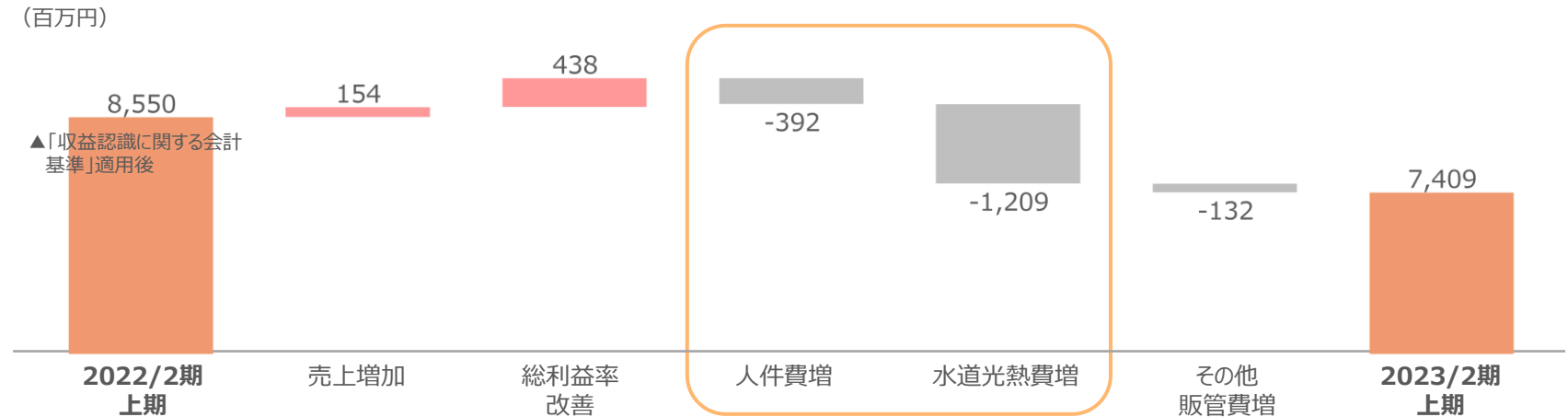
2020年3月～2022年9月（月別）既存店前年比の推移



3. 営業利益の増減要因及び販管費明細

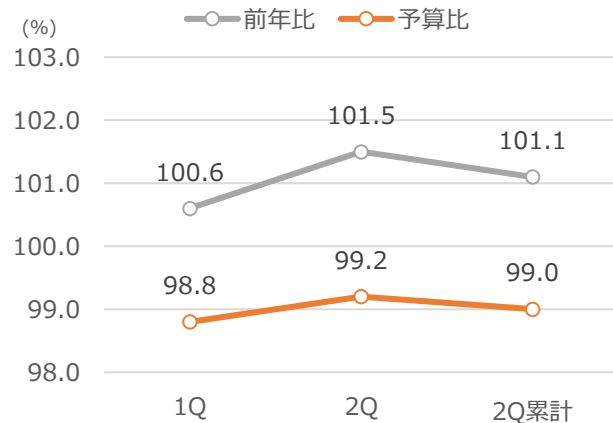
売上増及び総利益率の改善を実現したが、人件費（前年差+4億円）、水道光熱費（同+12億円）の大幅増加を主因に営業利益は減益着地となりました。

営業利益の増減要因（前年対比）



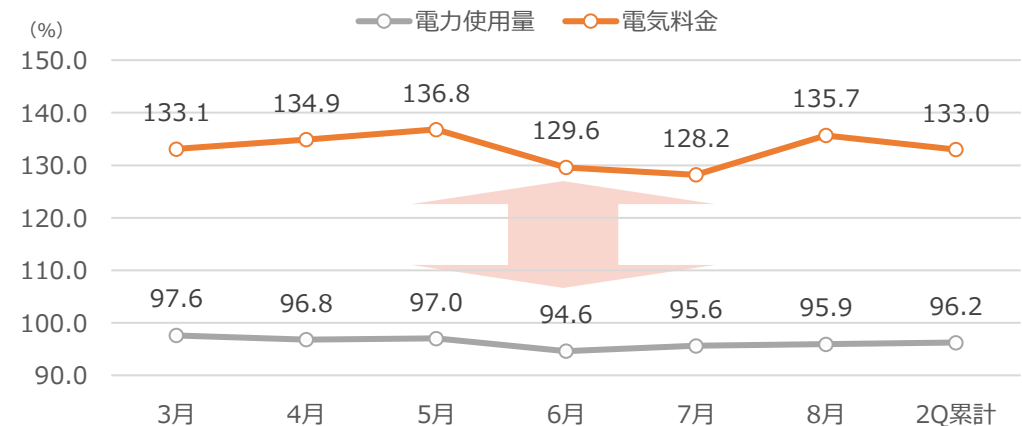
人件費の四半期推移（対前年・予算）

人件費については前年比で増加しているものの、予算内でコントロールできている。



電力使用量と電気料金の前年対比

電力使用量は昨年対比で削減しているが、単価上昇により電気料金前年比は大きく増加している。



4. 通期業績予想及び下期の取り組みについて

2023年2月期下期において、引き続きコスト削減やカテゴリーマネジメントの取り組みなど、収益改善に取り組み、当初業績予想の達成に向けて事業を推進してまいります。

2023/2期通期業績予想

(億円)	上期実績	通期予想
売上高	2,812	5,630
前年比	100.2%	101.1%
予算比	99.4%	-
営業利益	74	159
前年比	86.7%	99.8%
予算比	89.5%	-
経常利益	82	173
前年比	89.2%	100.3%
予算比	91.7%	-
当期純利益	55	109
前年比	92.1%	105.8%
予算比	92.8%	-

2023/2期 下期に向けた取り組みについて

以下の取り組みを中心に収益改善を進め、通期業績予想の達成を目指します。

CGC商品の拡販

- CGC商品を中心とした棚割り構成や販売強化。

カテゴリー マネジメント

- 商品構成の見直しや施策の横展開により、売れ筋確保や物価高騰に対応。

新日本SM同盟

- 共同開発商品や共同仕入れ、優良産地や商品の相互紹介等、コスト削減や他社との差別化を推進。

販売チャネル の拡大

- オンラインショップの拡大、専門業者と連携したフードデリバリーの拡大。

新基幹システム の利活用

- 各社・店舗のデータ分析・共有による、在庫水準の見直し（値引・廃棄ロスの削減）、売れ筋共有など。
- 各社・店舗の価格対策の検証（売価の適正化）。

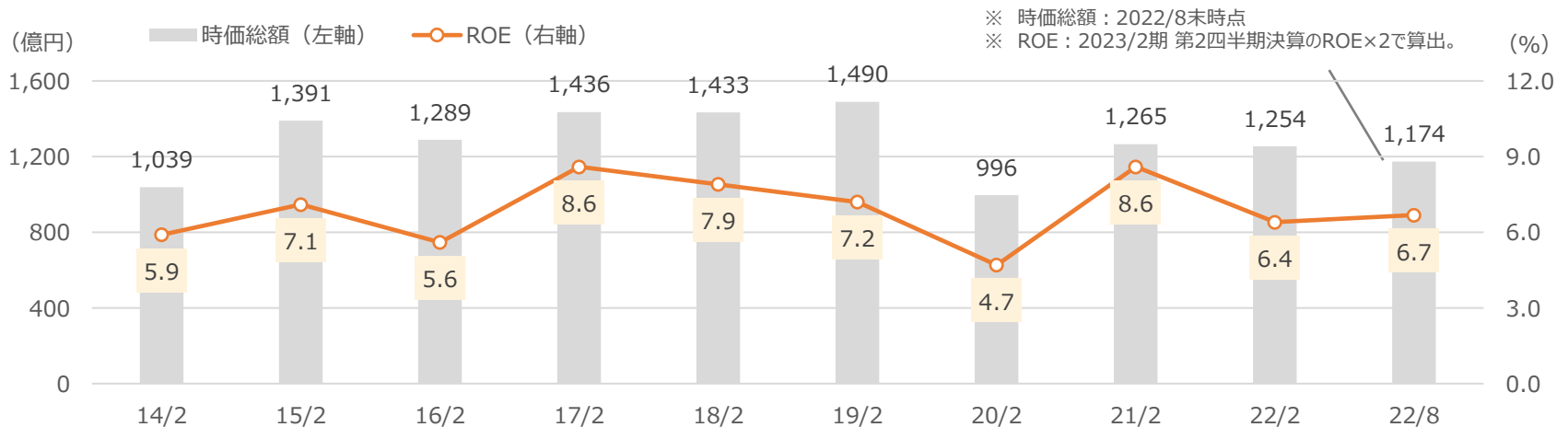
新店／改装

- 新店及び改装実施店舗について、投資の確実な刈り取りを実施。
- ※ 2023/2期下期 新店2店舗、改装10店舗、閉店2店舗

5. 株主還元について

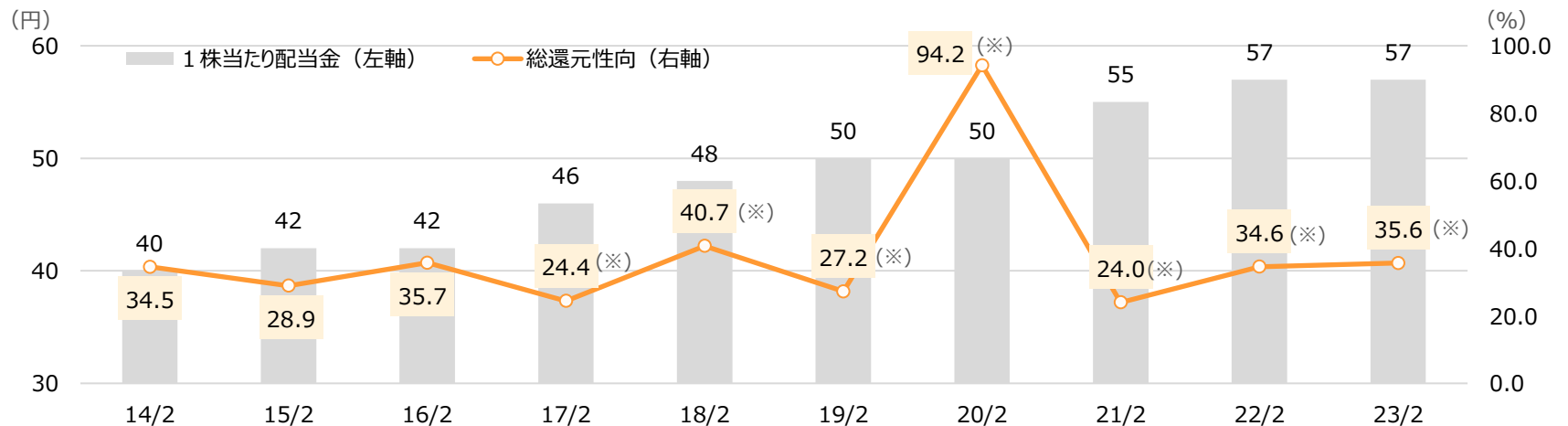
- 時価総額、ROEを意識した経営・・・利益成長が必須
- 総還元性向の更なる向上・・・1株当たり配当額の増加や自社株取得

時価総額及びROEの推移



配当性向・総還元性向(※)の推移

(※)総還元性向 = (支払配当総額 + 自社株取得) ÷ 当期純利益 × 100



(※)自社株買いを実施しております (予想)

アークスグループの取り組み

1. 取り巻く環境～戦争そしてインフレ
 2. 決勝戦は始まっている～アークス結成20周年
 3. アークスの今後の展開について
- 【ご参考】2023年2月期の店舗展開

株式会社 アークス
代表取締役社長 横山 清

1. 取り巻く環境～戦争そしてインフレ

グローバル化された世界がコロナ禍によってローカルごとに膠着し、先の見えない状況に。さらに、ロシアのウクライナ侵攻により、「失われた30年」と言われる現状が激変。

1973年10月 第一次オイルショック

日本における「狂乱価格」

- スーパーマーケット各社は、インフレファイターを標榜。
- 中小スーパーの協同体として、CGCグループが誕生。

2022年2月 **欧米の金利格差**
ロシアのウクライナ侵攻 **に伴う円安の進行**

資源・原材料価格の上昇、物価高騰

- 地域の食文化を守り、生命線を護る存在が必要となる。

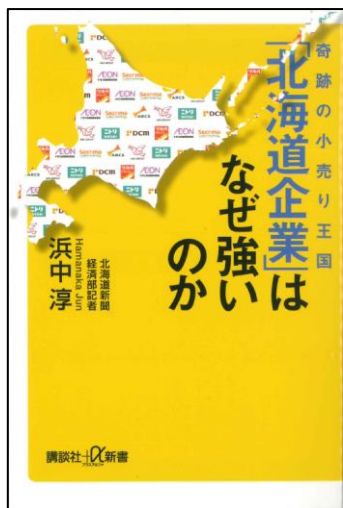
アークスグループは逆境をチャンスに変えて成長してきた

2. 決勝戦は始まっている～アークス結成20周年

大手との競争が激化し、あらゆる状況が変化するなかで、アークスは結成20周年、“八ヶ岳連峰経営”が本領を発揮するとき。

勝ち残りをかけたコスト上昇との戦い

- ウクライナ情勢の長期化に伴うエネルギー・原材料価格の高騰
- 金融政策の格差による急激な円安の進行

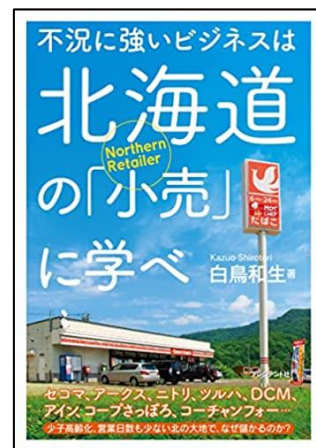


▲ 奇跡の小売り王国
「北海道企業」はなぜ強いのか
/浜中淳・著

不況に強いビジネスは
北海道の「小売」に学べ▶
/白鳥和生・著



◀ 小売業の実践 SDGs経営
/渡辺林治・編著



▲ 関西スーパー争奪
ドキュメント混迷の200日
/日本経済新聞社・編著

アークスグループは、地域のライフラインとして、価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します。

3. アークスグループの今後の展開について

他社連携(CGC、新日本SM同盟)の深掘り、M&Aを加速し、売上高1兆円体制を目指す。

CGCグループ
の更なる活用

新日本SM同盟
の連携強化

連続的な成長

八ヶ岳連峰経営の進化
グループシナジーの発揮

非連続な成長

M&A
(Mind & Agreement)



グループシナジーの発揮、積極的なM&Aを通じて、売上高1兆円体制を確立する

【ご参考】2023年2月期の店舗展開

上期は改装9店舗。下期は改装10店舗に加え、新規出店2店舗を予定。閉店も含め、店舗のスクラップ&ビルドを一層進めてまいります。

今期改装／閉店店舗

上期改装：9店舗

	店舗名	グループ会社
1Q	ジョイス宮古千徳店	ベルジョイス
	フクハラ大樹店	福原
	東光ストア行啓通店	東光ストア
2Q	RM伏古店	ラルズ
	SA菊水店	ラルズ
	ユニバース上北町店	ユニバース
	BH北上店 (SA北上店に業態変更)	ベルジョイス
	BP永山中央店 (SA永山中央に業態変更)	道北アークス
	TSUTAYAあいの里店	東光ストア

下期改装：10店舗（計画）

3Q	フクハラ桂木店（9/1改装オープン）
	BP六合店（9/15改装オープン、SAへの業態変更）
	RS平岸店（9/23改装オープン、SAへの業態変更）
	SA中島店（9/30改装オープン）
	SAウェスタン北彩都（10/4改装オープン） 他4店舗
4Q	1店舗を計画

23年2月期 閉店：3店舗（計画）

2Q：RM日乃出店閉店、3Q：1店舗、4Q：1店舗を予定

*SA：スーパーアークス、RS：ラルズストア、RM：ラルズスマート、BP：ベストプライス、BH：ビッグハウス

今期新規出店

スーパーアークス千代台店（株道南ラルズ） 2022年9月9日オープン



- 旧千代ヶ岱小学校跡地に建設・出店
- 約803坪（2656㎡）、駐車台数 266台
- 小学校で使用されていた木材を床材で再利用した他、跳び箱をリメイクしたテーブルや椅子を設置。
- 店舗外壁には戊辰戦争から現代の函館までの歴史を現わすアート「函館浪漫散歩」を設置、函館の歴史を発信する。

ユニバース北上花園店（株ユニバース） 2022年9月22日オープン



- 約781坪（2,583㎡）、駐車台数 200台
- 外観は、周辺とも調和するよう、白を基調とした新しいデザインを導入。また、断熱性能の優れた外壁材を一部採用し、建物への冷暖房負荷を少なくし、環境にやさしい建物を目指しました。
- 省エネ設備の導入に加え、岩手県産品の充実、総菜コーナーや冷凍食品等を充実させています。

ご清聴ありがとうございました

